

令和7年度新宿区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名：新宿区立東五軒町保育園
施設所在地：新宿区東五軒町

1-1 活動テーマ 忍者体験

1-2 テーマ設定理由

日頃より、子どもたちは「修行」という形で忍者の動きなどについてイメージをふくらませながら運動遊び、表現遊びを楽しんでいます。子どもたちの興味関心をさらに深めるため「忍者体験」をテーマとして設定し、実際に忍者の動きや道具などを教えてもらい体験しました。

2-1 活動スケジュール

- 6月 手裏剣体験（4, 5歳クラス）
- 10月 刀体験（4, 5歳クラス）



3-1 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

忍者になりきって体験を楽しめるように、ボルダリングの斜面台やパーテーションプロジェクターなどを設定しました。また、遊びに必要な物を製作できるように、様々な教材を用意しました。



4-1 探究活動の実践 活動の内容

忍者と一緒に実際に手裏剣を投げたり刀を使ったりしながら「修行」として「印」を結ぶ言葉や動きなどを教えてもらいました。忍者についての知識を深める機会として忍者の7つ道具の説明を聞きました。

令和7年度とうきょうすくわくプログラム (東五軒町保育園)

4-2 活動中の子供の声、子供同士や保育者との関わり

子ども「忍者はどんな時に戦うの？」

忍者「忍者は敵と会わないように隠れたり、情報を集めたりすることが仕事です。敵に見つかってしまった時、戦ったり手裏剣を使ったりするのは最後の手段なのです。」

子どもたちのイメージとは違う忍者の姿を教えてもらうことで、新しい気づきがありました。



5-1 振り返り 振り返りによって得た先生の気づき

今回のすくわくプログラムでは、忍者の動きについての学びを期待していましたが、忍者とは何者か？などの知識を得る機会となりました。自分たちがイメージしていたことと違う体験をしたことで、保育者も思い込みでなく、様々な方面から知識を得ることが大切だと気付いた体験でした。